

はなさき ワーキング花咲



ワーキング花咲は、矢吹町にあります。



紙袋作成作業と
取っ手付けを
しています。



段ボールの
バリ取りや
組仕切りの作業

グループホーム棟



所長さんの「親亡き後の生活の場がなくてはならない。早めの自立が必要」との思いから、平成27年に開所。

<参加保護者の感想>

令和4年11月8日(火)矢吹町にあるワーキング花咲に研修視察に伺いました。社会に出るきっかけになってほしい、目標をもって働いてほしい、自立した生活につなげていってほしいという思いから、この施設ができたということでした。

事業所では、企業から委託された段ボールのバリ取りや仕切作業、紙袋づくりなどを行っていました。それぞれの工程を分担し、協力して作業を進めていました。自分の役割をしっかりと理解して作業をしている印象を受けるとともに自信をもって作業ができるように職員の方が声かけしてくださっているように感じました。

はじめてこうした施設を見学しましたが、一人ひとりの特性やその日の様子を見ながら働くことのできる環境があることは、本当にありがたいと感じました。ぜひ、お子さんと一緒にいろいろな事業所に見学に行ってみてくださいとのことでした。短い時間でしたが、貴重な研修視察となりました。

<MEMO>

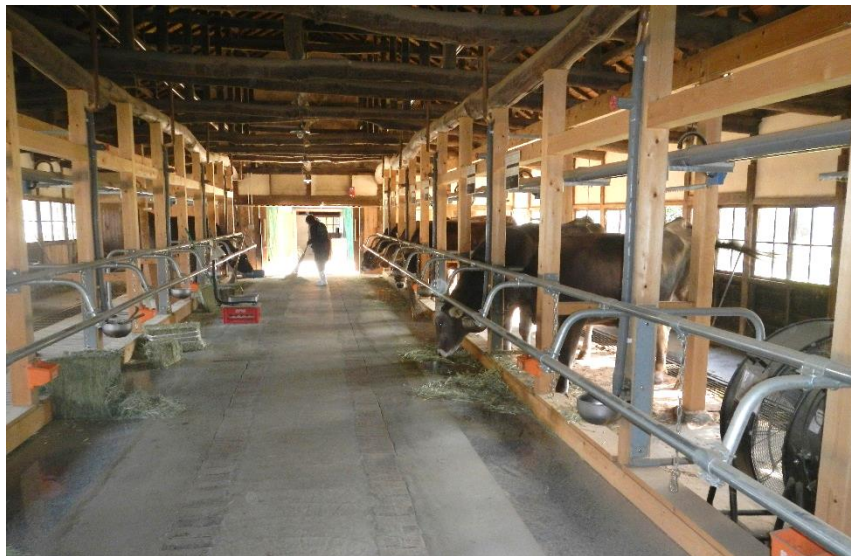
『ワーキング花咲』

- 29名が利用。(令和4年11月現在)
- 平均工賃は3万円。
- 月曜日から金曜日までの勤務。企業に合わせるので土曜や祝日の勤務もある。
- 施設外就労で9名の方が企業で仕事をしている。

『グループホーム』

- 4棟あり、1棟6名。24名が生活している。
- 家賃は3万円(うち1万円は市町村からの助成金)
- 食費は朝夕で2万5千円(朝食300円、夕食500円で外部業者委託)
- 光熱費、施設消耗品、通院代、スマホ代など他にかかる。
- 世話人さんが6~10時、14~18時に勤務し支援してくれる。

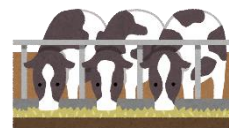
まきば めぐみ 牧場の恵



牧場の恵は鏡石町の岩瀬牧場内にあります



牛舎の仕事は牛の体調
に合わせてえさやり、
清掃をします



野菜などを
袋詰めして
販売しています

米袋にスタンプ
やシールを貼る
作業や袋に残っ
た米を出す作業



<参加保護者の感想>

令和4年11月8日（火）PTA 研修視察として鏡石町の岩瀬牧場の敷地内にある、就労継続支援B型事業所、牧場の恵に伺いました。

牧場の恵では、牛舎の仕事、農場のサポート、ペットフード製作を主に行っています。牛舎の仕事は、専門の方に教わりながら牛の体調に合わせてのえさやり、清掃などを行っていました。ブラウンスイスという種類の温厚で人懐っこい牛を飼育しているので、動物が好きな方、興味のある方などに向いていると思います。農場のサポートは岩瀬牧場から少し離れた場所に畑があり、旬の野菜を無農薬にこだわって育てており、収穫だけでなく、袋詰めをして販売まで行っています。ペットフード製作は、添加物が入っていない安全安心なペットのおやつを作っています。その他に、米袋にスタンプやシールを貼る作業、米袋の再利用のために袋の中に残っている米を出す作業も行っています。

代表である^{かやもと}栢本直行さんは、岩瀬牧場には人、自然、動物をつなぐいい環境が整っているとおっしゃっていました。動物のためになる事業を心がけているそうです。動物にはアニマルセラピー効果があり、動物の世話を通して、人間も動物も癒されるとのことでした。動物のお世話が主ですが、動物が苦手な方や利用する方の体調に合わせて個人に合った作業を対応していただけるそうです。障がいの種別に関わらず、利用できるということです。

今年4月にオープンしたばかりで、岩瀬牧場の一部を間借りして行われていますが、将来的には、様々な分野に挑戦し、地域の中で資源を自給・循環できる経済モデルを作り上げたいともおっしゃっていました。

岩瀬地区には障がい者が働ける場所が少ないので、牧場の恵さんのように障がいがあってもなくても誰でも働けて生活できる場が増えてほしいと思いました。